ウィスパリングギャラリーモードのシリコンフォトニック結晶素子との結合 Coupling of Whispering Gallery Mode with Silicon Photonic Crystal 慶大理工¹,南京郵電大²⁰遊部航希¹,熊崎 基¹, Yuyang Zhuang^{1,2},藤井 瞬¹,今村 陸¹,石田蘭丸¹,田邊孝純¹ Keio Univ. Elec and Elec. Eng.¹, NJUPT. Elec. And Opt. Eng.² [°]Koki Yube¹, Hajime Kumazaki¹, Yuyang Zhuang^{1,2}, Shun Fujii¹, Riku Imamura¹, Rammaru Ishida¹, and Takasumi Tanabe¹ E-mail: takasumi@elec.keio.ac.jp

結合共振器による Q 値の動的変調は、微小光共振器を信号処理に応用する際の重要な技術で あり、Whispering Gallery Mode (WGM)共振器[1]や、シリコンリング共振器[2]での実証が報告さ れている.前者は超高 Q 値のため光を長時間(数 µs)閉じ込めることができるが変調が難しく、 後者は高速な変調が可能であるが Q 値は低いため光の保持時間は短い(数 10 ps)という欠点を持 つ.異種共振器間の効率的な結合が実現できれば、高速(低 Q)に読み書き可能な長時間(高 Q)光 メモリのような新たなアプリケーションが期待される.本研究では、シリカ WGM とシリコン フォトニック結晶(PhC)の効率的なモード結合と、結合共振器の形成に関する実験の結果を報告 する.

通常,シリカ(*n*_{SiO2} = 1.44)とシリコン (*n*_{Si} = 3.48)のように屈折率が大きく異なる材料 間の結合は難しいため結合系は複雑になる[3]. フォトニック結晶は特定の波長で実効屈折率が *n*_{eff} = 1.44 となる(Fig. 1(b))ため,シリカ WGM 共 振器と PhC 導波路の効率的な結合が Fig. 1(a)で 示されるような単純な結合系で可能となる[4].



Fig. 1: (a) Schematic illustration of the coupling system. (b) Effective index of Si PhC waveguide

Fig. 2(a)に WGM 共振器と PhC 共振器の結合セットアップを示す. PhC 共振器は入力/出力導 波路と直接結合, WGM 共振器とエバネッセント結合しており, 共振器内モード振幅 a, b と出 力光振幅 s_{out} は以下の結合モード方程式で記述される(γ は損失, κ は結合係数). 二つの共振器 の共振波長が一致する場合, これを解くと Fig. 2(b)に示されるように電磁誘起透過 (EIT) に似 たスペクトルが得られた.

$$\frac{da(t)}{dt} = j\omega_A a(t) - \frac{\gamma_A + \gamma_{bus} + \gamma_{drop}}{2} a(t) + \sqrt{\gamma_{bus}} e^{j\theta} s_{in} + j\frac{\kappa}{2} b(t)$$
(1)

$$\frac{db(t)}{dt} = j\omega_B b(t) - \frac{\gamma_B}{2} b(t) + j\frac{\kappa}{2} a(t)$$
(2)

$$s_{out} = \sqrt{\gamma_{drop}} e^{j\theta} a(t)$$

(3)

実験には幅変化型線欠陥 PhC 共振器[5]を用いた. Fig. 2(c)は PhC 共振器と WGM 共振器を結 合させた時の測定結果であり, WGM の共振波長でピークが観測された. Fig. 2(c)の挿入図に示 すように, PhC チップを温度制御することで共振ピークをシフトさせることが可能であり, WGM と PhC の共振ピークを近づけたときのスペクトルを Fig. 2(d)に示す. WGM の共振波長で のピーク観測は,結合モード方程式による予想に反する. この振る舞いは入力/出力導波路のエ バネッセント場が WGM との結合部付近にまで広がって結合した結果だと考えられるが,これ にはより詳細な調査が必要である.



Fig.2(a): Schematic illustration of coupling system. (b): Calculated transmittance spectrum with different coupling Qs, when the resonances of the PhC and WGM modes are the same. (c): Transmittance spectrum of a PhC device with and without the coupling of a silica toroid WGM resonator. (d): Transmittance spectrum when the WGM and PhC resonances are close.

[1] W. Yoshiki, *et.al.*, Sci Rep **7**, 10688 (2017). [2] Q. Xu, *et.al.*, Nature Phys **3**, 406–410 (2007). [3] M. Anderson, *et.al.*, Opt. Lett. **43**, 2106-2109 (2018). [4] Y. Zhuang, *et.al.*, Opt. Lett. **44**, 5731-5734 (2019). [5] T. Tanabe, *et al.*, Nat. Phot. **1**, 49 (2007). (本成果は戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE 191603001)の委託業務の結果得られました.)